

平成24年第1回八千代町議会定例会会議録（第2号）

平成24年3月9日（金曜日）午前9時00分開議

本日の出席議員

議長（9番）	水垣 正弘君	副議長（8番）	大久保 武君
1番	国府田利明君	2番	大里 岳史君
4番	上野 政男君	5番	中山 勝三君
6番	生井 和巳君	7番	相沢 政信君
11番	小島 由久君	12番	宮本 直志君
13番	大久保敏夫君	14番	湯本 直君

本日の欠席議員

3番	廣瀬 賢一君	10番	矢中 召二君
----	--------	-----	--------

説明のため出席をしたる者

町 長	大久保 司君	副 町 長	生井 光男君
教 育 長	高橋 昇君	会 計 管 理 者	渡辺 常雄君
秘 書 課 長	風見 好信君	総 務 課 長	飯島 英男君
企画財政課長	斉藤 実君	税 務 課 長	青木 良夫君
町 民 課 長	小竹 貞男君	福祉保健課長	生井 勝巳君
生活環境課長	岡田 昭夫君	産業振興課長	浜名 進君
都市建設課長	上野 真一君	上下水道課長	幸田 裕之君
農 業 委 員 会 事 務 局 長	水垣 進君	学校教育課長	水書 正義君
教 育 次 長 兼 公 民 館 長 兼 生 涯 学 習 課 長	上野 林作君	給食センター 所 長	片平 博君
総 務 課 参 事	鈴木 忠君	企 画 財 政 課 参 事	青木 喜栄君

議会事務局の出席者

議会事務局長	猪瀬 誠	主 査	小林 由実
--------	------	-----	-------

主 任 外山 勝也

議長（水垣正弘君） 引き続きご参集をくださいませ、まことにありがとうございます。

ただいまの出席議員数は12名であります。よって、定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

（議長が了承を求めた議事日程は次のとおり）

議 事 日 程 （第2号）

平成24年3月9日（金）午前9時開議

- 日程第1 議案第16号 平成24年度八千代町一般会計予算
議案第17号 平成24年度八千代町国民健康保険特別会計予算
議案第18号 平成24年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算
議案第19号 平成24年度八千代町介護保険特別会計予算
議案第20号 平成24年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算
議案第21号 平成24年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算
議案第22号 平成24年度八千代町下水道事業特別会計予算
議案第23号 平成24年度八千代町水道事業会計予算

（提案理由の説明）

（関係課長の概要説明）

（質疑、各常任委員会付託）

日程第2 休会の特

- 日程第1 議案第16号 平成24年度八千代町一般会計予算
議案第17号 平成24年度八千代町国民健康保険特別会計予算
議案第18号 平成24年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算
議案第19号 平成24年度八千代町介護保険特別会計予算
議案第20号 平成24年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算

議案第21号 平成24年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算

議案第22号 平成24年度八千代町下水道事業特別会計予算

議案第23号 平成24年度八千代町水道事業会計予算

議長（水垣正弘君） 日程第1、議案第16号 平成24年度八千代町一般会計予算、議案第17号 平成24年度八千代町国民健康保険特別会計予算、議案第18号 平成24年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算、議案第19号 平成24年度八千代町介護保険特別会計予算、議案第20号 平成24年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算、議案第21号 平成24年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第22号 平成24年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第23号 平成24年度八千代町水道事業会計予算、以上8件を一括議題といたします。

朗読を省略して、提案理由の説明を求めます。

町長。

（町長 大久保 司君登壇）

町長（大久保 司君） ただいま一括上程されました議案第16号 平成24年度八千代町一般会計予算、議案第17号 平成24年度八千代町国民健康保険特別会計予算、議案第18号 平成24年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算、議案第19号 平成24年度八千代町介護保険特別会計予算、議案第20号 平成24年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算、議案第21号 平成24年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第22号 平成24年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第23号 平成24年度八千代町水道事業会計予算の提案理由をご説明申し上げます。

最初に、平成24年度町政運営方針を述べたいと思います。

ここに平成24年第1回八千代町議会定例会の開会に当たり、町政を担う責任者として、町政運営に関する所信の一端とそれらを具体化する施策の概要について申し述べます。議員の皆様を初め、町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年を振り返ってみますと、世界経済を揺るがすヨーロッパのユーロ危機が懸念される中、我が国においても長期化する円高や輸出産業への影響等大変厳しい経済状況となっております。さらに昨年3月に発生しました東日本大震災・原発事故による甚大な被害からの早急な復旧・復興が望まれるところであります。

このように本町を取り巻く環境は厳しいものがありますが、私はこれからも、町民の皆様と手を携えて、だれもが健やかに安心して暮らせる町を目指して、町政運営に取り

組んでまいります。

それでは、新年度を迎えるに当たり、改めて私の考えを述べさせていただきます。

今、我が国の経済は、円高が急激に進行し、デフレの長期化、さらにヨーロッパを初めとする経済不安が続いており、国の新年度予算案は、3年連続で国債発行額が税収を上回るという状況であります。

また、県においても、地方交付税が大幅に削減され、一般財源がこの8年間で2,000億円を超える金額が減少しており、さらには景気低迷による税収の落ち込み等により、依然として危機的な状況が続いております。

本町においては、大幅な一般財源が減収する中、公債費や医療・福祉関係経費が増加していることなどから、引き続き厳しい財政運営となっております。

このような厳しい財政状況を乗り切るため、町の指針として示した「八千代町第4次行政改革大綱」及び「八千代町第2次行政財政集中改革プラン」の趣旨に沿い、全庁総力を挙げて、歳入歳出の両面から思い切った見直しを行ってまいります。

本町に隣接する古河名崎工業団地に、日野自動車の進出が決まり、昨年10月には起工式が行われました。今後も本町の地理的な優位性を生かして日野自動車関連企業等の誘致を進め、雇用の創出と税収の確保を目指してまいります。

全国的な人口減少や少子高齢化の急速な進行、長期的な景気低迷と地方財政の悪化など、社会経済状況が大きく変化している中で、町民と行政の協働による自立したまちづくりを積極的に進めていくために、町民と行政のパートナーシップのもと「人・地域 ともに輝く 協働のまち 八千代」を目指し、八千代町第5次総合計画の着実な推進を図ってまいります。

平成24年度の主な施策につきましては、第5次総合計画に掲げた事業について、投資効果、緊急度等を勘案し、限られた財源の配分に努めたところでありますが、主要な施策にいて、第5次総合計画の施策体系に基づいて、順次申し上げます。

主な施策の第1は、健康・福祉の充実であります。

だれもが、住みなれた地域で、生涯にわたって健やかに、生きがいを持って、安心して暮らすことができる町を目指してまいります。

健康で元気なまちづくりについては、町民だれもが生涯にわたり健康で元気に暮らすことができるよう、町民一人一人がみずから取り組む健康づくり活動を支援してまいります。

疾病の早期予防や早期発見、感染予防も図ってまいります。なお、平成24年度も子宮頸がん予防接種、肺炎球菌予防接種、ヒブ予防接種に対する補助を引き続き行ってまいります。

町民だれもが身近な地域で適切な医療が受けられるよう、病院・診療所・その他保健医療機関の連携強化を進め、診療体制の充実を図ってまいります。

次世代を担う子どもを守り、はぐくむまちづくりについては、安心して子どもを産み育てることができるよう、町民のさまざまな事情やニーズにこたえていく環境を整えながら、関係機関や地域社会が一体となった子育て支援を推進してまいります。平成24年度には、安静保育園の園舎建てかえについても補助してまいります。

みんなで支える安らぎのまちづくりについては、町民だれもが、住みなれた地域の一員として、ふれあいを通して、生涯安心して暮らし続けることができるよう、ともに支え合う地域福祉まちづくりを推進してまいります。

高齢者が心身ともに健康で、いきいきと自立して人生を送れるよう、介護予防や介護する家族の支援、生きがい対策など、きめ細かな福祉の体制づくりに取り組んでまいります。

障がい者が安心していきいきとした生活を送れるよう、自立を支援してまいります。また、一人一人のニーズに合った質の高い介護サービスや介護予防サービスを提供してまいります。

安定した生活のできるまちづくりについては、社会保障制度への理解を深めるとともに、国民健康保険制度、後期高齢者医療制度、国民年金制度、介護保険制度、医療福祉制度、生活保護制度の適切な運用に努めてまいります。

主な施策の第2は、生活環境・都市基盤の整備であります。

誇れる豊かな自然環境と共生し、安全・快適に暮らすことができる町を目指してまいります。

安心・安全に暮らせるまちづくりについては、火災等の災害から町民を守り、安心・安全な暮らしを確保できるよう、消防力の強化、救急業務の高度化を図り、災害の未然防止や被害の軽減とともに防災施設・体制の強化に努めてまいります。平成24年度には、消防ポンプ車2台を更新してまいります。

自然豊かな住みよいまちづくりについては、町民の憩い・ふれあいの場としての役割はもとより、防災機能を兼ね備えた安心・安全な空間を確保するため、既存公園の維持

管理に努め、有効活用を図ってまいります。

今後、公共の福祉を優先に自然環境の保全を図りながら、合理的・計画的な秩序ある土地利用を推進してまいります。特に、市街化区域では、住居系は土地区画整理事業による良好な整備、非住居系では、新たな工業系用地の確保を目指してまいります。

土地区画整理事業を早期に完成させ、人口の定着を図るため、定住対策や都市住民との移住・交流につなげてまいります。

快適で便利に暮らせるまちづくりについては、将来の世代へ継承できる快適な環境づくりの実現に向けて、住民主導によるごみの減量化やリサイクルの推進など、循環型社会の形成に努めてまいります。

また、平成24年度から自然エネルギーの積極的活用を図り、地球温暖化防止及び環境保全意識を高揚するため、太陽光発電システム導入に対して補助をしてまいります。

道路の整備については、計画的な交通ネットワークの確保とともに、一級町道2号線や8号線を初めとする幹線道路は、地方道路計画に基づき計画的に整備し、一般町道についても維持補修、排水整備に努めてまいります。

広域的なネットワークである国道125号のバイパス化、鬼怒川ふれあい道路の整備について、引き続き国・県等の関係機関に要請してまいります。

筑西幹線道路につきましては、平成24年度から事業に着手してまいります。

町民の生活に欠かせない水の安定供給については、計画的で効率のよい上水道事業の運営に努めてまいります。

また、町民の理解と協力のもと、引き続き鬼怒小貝流域下水道事業や公共下水道事業の整備促進、合併処理浄化槽の普及、農業集落排水事業に取り組むとともに、施設の適切な維持管理に努めてまいります。

主な施策の第3は、教育と文化の振興であります。

町や地域を学び、誇りと愛着を持って、まちづくりに意欲的に取り組む人々をはぐくむ町を目指してまいります。

未来を担う八千代の人づくりについては、子どもたちが、地域に愛着を持ち、心身ともにたくましくはぐくみ、学ぶことができるよう、教育内容のさらなる充実を図ってまいります。

健全に、安心して学ぶことができるよう学校と地域一丸となって取り組んでまいります。平成24年度には、八千代第一中学校校舎の基本設計、実施設計を行い、安心安全な

教育環境の充実に努めてまいります。

生きがいのある文化的なまちづくりについては、町民だれもが、生涯を通じて学習のできる体制の整備充実を図るとともに、社会教育活動の充実により、生きがいのあるまちづくりを推進してまいります。

公民館や図書館が社会教育、地域づくりの拠点としての中心的な役割を果たし、文化の薫りが高く、明るく住みよい、誇れる個性のある地域づくりに貢献できるよう、利用しやすい施設づくりや事業内容の充実を図ってまいります。

さらに、文化協会とともに、町民が芸術・文化に触れる機会をより一層拡充し、郷土に根差した芸術・文化の継承と振興に努めてまいります。また、先人の築いた歴史・文化を後世に伝えるため、長期的展望に立った文化財の保護・保存・活用を図ってまいります。

健やかでたくましい人づくりについては、地域や家庭が連携し教育力を高め、青少年が心身ともに健康で人間性豊かに成長できるよう、町・地域ぐるみで健全育成の環境・体制づくりを推進してまいります。

町民が生涯にわたり、スポーツ・レクリエーション活動に気軽に参加でき、一人一人に合った健康づくりや体力向上に取り組むことができるよう、関係機関との連携のもと、施設の整備・充実や組織・指導体制の充実を図ってまいります。

主な施策の第4は、産業の振興であります。

基幹産業である農業を軸に、工業や商業、観光などさまざまな分野の交流や連携を促し、にぎわいと活力のある町を目指してまいります。

活力と将来性に満ちた農業の振興については、環境に配慮した持続的な農業経営の確立による安全で新鮮な農作物の供給のため、生産者と行政の連携を高め、生産・流通体制の充実を図るとともに、地場農産物・加工特産品のブランド化やPRを推進してまいります。

担い手や農業法人等の経営を支援するとともに、就農希望者に対する受け入れ体制の強化などにより、後継者の育成に努めてまいります。

営農体系の確立と経営の近代化を促進するため、耕地の集団化、大型機械化、作業体系化による営農の省力化、農地や用排水路等、農業生産基盤の整備を総合的に推進するとともに、湛水被害を未然に防ぎ、農地の保全や活用を推進してまいります。

農業基盤の整備は、下結城地区と中結城地区の県営畑地帯総合整備事業及び霞ヶ浦用

水事業を推進し、農業用水の安定的な供給体制の確立を図り、ハウス等の施設農業を充実させ、安定した農業経営の実現に努めてまいります。

創造性あふれる商工業の振興については、商業では、個性的な店づくりや経営の高度化・近代化により、人々が集い、にぎわいのある商店街の形成を促進していくとともに、工業では、既存企業の技術力向上や事業拡張、事業高度化への支援に努めてまいります。

平成23年度には、八千代町産業戦略会議を立ち上げております。この会議は、町議会議員や商工会、農協、企業、行政区長の代表者など15人で構成しており、企業誘致や若者の定住及び移住の促進など産業の活性化に必要な施策の提言をいただきました。その提言をもとに工場等の立地促進や雇用の確保を図るために、固定資産税の課税免除制度を新たに整備してまいります。また定住を促進するため、八千代中央土地区画整理地の保留地を購入し、住宅を建築した方に対して助成を行ってまいります。

地域資源を生かした観光の振興については、新たな地域資源の発掘とともに自然環境に恵まれた八千代グリーンビレッジを中心とする、憩遊館や滞在型市民農園「クラインガルテン八千代」等の既存資源の現状把握、さらには観光マーケットニーズの把握をし、観光課題の整理分析をすることで、地域間交流、近隣市町との連携により、広域観光など交流の拡大による町のイメージアップと観光の振興を図ってまいります。

安心できる消費生活の実現については、町民の健全な消費生活の定着と安定に向けて、「消費生活センター」による相談指導体制の充実を図るとともに、学習機会の拡充や啓発活動を通して被害の防止に努めてまいります。

主な施策の第5は、協働のまちづくりであります。

本町の特色ある地域コミュニティーや組織を生かし、発展させ、新たな自治をみんなで築いていく協働の町を目指してまいります。

みんなで進める協働のまちづくりについては、町民の自立と連携に支えられた、活力のあるまちづくりを進めるため、コミュニティー推進協議会活動を中心に、地域の連帯感を醸成し、主体性や創造性に富んだ地域活動を促進する環境づくりに努めてまいります。

町民総参加による自主的かつ個性的な地域協働社会の実現のため、若者のバイタリティー、女性の豊かな発想、高齢者の豊富な知識と経験を存分に活用しながら、まちづくり活動への支援や協働のまちづくりを推進してまいります。

交流と思いやりのあるまちづくりについては、町民・職員とも人権問題に関する理解

と認識を深め、一人一人が尊重され、心豊かにともに生きる平等で明るい社会の実現を目指し、学習・啓発活動を推進してまいります。

地域間交流や都市と農村の交流、国際交流など、多様な交流が活発に行われることにより、町民や訪れる人がいきいきとふれあい、暮らすことができる町の実現を目指してまいります。

情報化社会に対応したまちづくりについては、まちづくり情報等の共有化を通して、町政への町民参加等を促進していくため、個人情報保護のもと、情報公開制度の適切な運用を図るとともに、広報・広聴活動のさらなる充実を図ってまいります。

高度情報化に対応した情報通信基盤の整備を促進するとともに、各種業務システムの利活用を図りながら電子自治体の構築を推進し、行政サービスの向上に努めてまいります。平成24年度には、町内全域に光ファイバー通信網が整備される予定となっております。

町民の視点に立った行財政運営の推進については、町民の多様なニーズにこたえ、適切かつ迅速な行政サービスを提供していくため、窓口サービスの向上や、行政体制・環境の改善など、町民の目線に立ったわかりやすく利用しやすい役場づくりを目指してまいります。

第2次行財政集中改革プランに基づき、計画的かつ効率的な行政運営と組織改革に努めるとともに、人材育成基本方針に基づき、職員の意欲と能力を最大限に引き出す取り組みを図り、優秀な人材の育成と定員の適正化を図ってまいります。

社会経済の変化と増大する行政需要に柔軟に対応できる安定的で持続可能な行財政運営を行うため、適切な財源の確保を図りながら、効率的かつ健全な財政運営を努めてまいります。

以上、町政運営に当たっての所信の一端を申し述べましたが、だれもが安心して暮らせる町を目指して、諸施策を推進してまいります所存であり、議員並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

続きまして、平成24年度予算の概要を申し上げます。

この予算につきましては、町政運営の基本及び施策の基本方針に基づいて編成したものであります。

最初に、議案第16号 平成24年度八千代町一般会計予算からご説明申し上げます。

平成24年度の一般会計予算総額は68億5,100万円となり、前年度と比較しまして

1,500万円、0.2%の減になっております。

予算の特徴を申し上げますと、歳入では固定資産税において、画地補正の導入や評価替えに伴い、8.6%の減収を見込み、町税全体で対前年当初比1.0%減で計上したこと。また、地方交付税につきましては、国において昨年度と同程度とされているものの、過去の地方財政計画と町の実績を比較検討し、対前年当初比1.2%減で計上したこと。さらに、財源不足及び復興まちづくり支援事業費交付金の対応として、義務教育施設整備基金と財政調整基金からの繰入金で1億円計上したことが挙げられます。

次に、歳出について申し上げますと、定員削減により人件費は3.7%減。扶助費では、医療福祉費及び子ども手当等の減により、全体で7.3%の減となっております。普通建設事業費の27.7%増の要因は、安静保育園改築に伴う安心子ども支援事業施設整備補助及び復興まちづくり支援事業費交付金による消防ポンプ車2台の更新、さらには八千代第一中学校の基本設計、実施設計業務委託等によるものであります。また、繰出金では、国民健康保険、介護保険、中央土地区画整理事業、下水道特別会計への繰り出しにより、全体で12.3%の増となっております。

今回の予算は、厳しい財政環境の中、「町行財政改革大綱及び行財政集中改革プラン」の趣旨に沿い、前年度に引き続き、全庁総力を挙げて事務事業等の見直しを図るとともに、限られた財源の重点的かつ効率的配分を基本として編成した次第であります。

以上が平成24年度八千代町一般会計予算の概要であります。詳細については担当課長に補足説明させますので、よろしくお願いいたします。

次に、議案第17号 平成24年度八千代町国民健康保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

国民健康保険は、長年我が国の医療保険制度の中核を担い、地域住民の医療の確保と健康増進に寄与してきました。しかしながら、急速な少子高齢化の進展や医療技術の高度化等により、医療費は年々増加の傾向をたどるとともに、就業構造の変化、経済の減速など大きな環境の変化に直面していることから、国保財政は以前にも増して大変厳しい状況にあります。

こうした中、国においては、「社会保障と税の一体改革」の中で実施する国保改革案が公表されていますが、新たに投入する公費については、消費税引き上げが前提になっているなど不透明な状況となっています。

以上のような状況を踏まえ、24年度の当初予算を編成いたしました。

それでは、当初予算の内容について申し上げます。平成24年度の歳入歳出予算の総額は27億3,610万6,000円で、対前年度比2.9%、金額で7,807万2,000円の増となっております。そのほとんどは、医療費にかかわるものとなっております。

歳入につきましては、平成23年度と比較し、国保税、国庫支出金、療養給付費等交付金、前期高齢者交付金、県支出金が増加し、それ以外の共同事業交付金、繰入金、繰越金では減少しております。

歳出につきましては、保険給付費59.9%、後期高齢者支援金等17.3%、介護納付金7.7%、共同事業拠出金13.4%と、以上4項目で歳出全体の98%を占めております。予算増額の主な要因としましては、総務費の一般管理費における委託料及び保険給付費、後期高齢者支援金等の増加によるものです。

以上が平成24年度八千代町国民健康保険特別会計予算の概要であります。

なお、この予算につきましては、平成24年2月24日に八千代町国民健康保険運営協議会に諮り、ご了承をいただいていることをご報告申し上げます。

次に、議案第18号 平成24年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算について申し上げます。

後期高齢者の医療制度につきましては、平成20年4月1日から運用が開始され5年目となりますが、現在国においては新たな制度改正に向け、検討がなされているところであります。今後、保険料の改正など県及び関係機関の動向を注視し、適切に対応する必要があります。

平成24年度の予算編成に当たりましては、歳入としまして保険料収入、一般会計繰入金、保険事業委託金を計上いたしました。

次に、歳出につきましては、検診実施に伴う委託料、広域連合への保険料等の納付金を計上いたしました。

以上により編成いたしました総額は1億5,166万1,000円で、対前年度比0.8%、126万7,000円の減となっております。

その主な内容でございますが、まず歳入から申し上げますと、23年度と比較し、後期高齢者医療保険料で153万2,000円、繰入金で9,000円それぞれ増加し、諸収入では280万8,000円減少しております。

また、歳出につきましては、後期高齢者広域連合への納付金で144万8,000円増加し、総務費で71万5,000円、諸支出金で200万円それぞれ減少しております。

以上が平成24年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算の概要であります。

次に、議案第19号 平成24年度八千代町介護保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

介護保険制度は、介護の現状に合わせて見直しを行うため、平成24年度から平成26年度までの3年間で1期とする第5期計画に基づき編成いたしました。給付を中心とした保険事業勘定予算と地域包括支援センターの運営による介護サービス事業勘定予算の2本立てによる予算でございます。

まず、保険事業勘定予算について申し上げます。

平成24年度の介護保険特別会計保険事業勘定予算は14億1,169万9,000円となり、前年度と比較しまして4,083万3,000円、3%の増となっております。

予算の内容について申し上げます。歳入につきましては、介護保険料でございますが、第5期介護保険事業計画により、基準月額を4,400円で計上いたしました。なお、前期と比較しますと51%の伸びとなっております。繰入金については、保険料に補・していた介護給付費準備基金がなく、繰り入れができないため、21%の減となっております。法定負担割合は、1号被保険者の負担割合が1%上昇し、支払基金交付金の負担割合は1%減少しましたが、国、県、町の割合は従来どおりとなっております。

歳出につきましては、総務費の経常経費については削減に努め、また本年度は介護保険事業計画の策定費用がありませんので、7%の減となっております。保険給付費につきましては、介護従事者の報酬改定及び地域区分の見直しによる上昇、さらに利用者の増加、利用率の伸び等により増額となっております。地域支援事業につきましては、事業の変更もなく、昨年とほぼ同額としております。

以上が平成24年度八千代町介護保険特別会計保険事業勘定の予算であります。

続きまして、介護サービス事業勘定予算についてご説明申し上げます。

平成24年度の介護保険特別会計介護サービス事業勘定予算は625万円で、昨年とほぼ同額としております。

予算内容について申し上げますと、歳入については、要介護度が要支援1と2の方に対する介護予防サービス計画収入であります。

歳出につきましては、介護予防サービス計画策定を介護予防支援事業所に委託しております委託料であります。昨年の実績を踏まえ、歳入歳出ともほぼ同額を計上しております。

以上が平成24年度八千代町介護保険特別会計予算の概要であります。

次に、議案第20号 平成24年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

八千代中央土地区画整理事業は、町の中心となる市街地の計画的な整備や都市計画道路の整備を図るため、平成元年11月20日に県知事の事業認可を受け、平成3年度から本格的に工事に着手し、その後、平成11年には施行区域を拡大して事業を進めているところであります。この間、地権者のご理解とご協力を得ながら家屋物件移転補償、都市計画道路や区画道路及び排水路の築造工事、宅地の造成工事等を進めてまいりました。前年度は、区画道路、排水路の築造工事、家屋物件移転補償、事業計画変更、実施計画変更業務等を実施いたしました。なお、平成23年度最終予算の事業費ベースによる進捗率は、地区全体で77.3%となっております。

現在、保留地価格の引き下げを行い、積極的に販売を進めているところであり、本年度は家屋物件の調査、家屋物件移転補償、都市計画道路、区画道路の築造及び整地工事等を実施いたします。

これにより編成いたしました予算総額は1億4,160万円、対前年比約127%となっております。

以上が平成24年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算の概要であります。

次に、議案第21号 平成24年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

農業集落排水事業につきましては、関係各位のご尽力を賜り、順調に進捗してまいりました。現在までに12カ所の処理施設が供用開始しております。

農業集落排水処理施設の維持管理につきましては、現在町が直接行っております。これからも受益者の生活に支障がないように処理施設の維持管理に当たってまいります。

また、平成24年度からの補助事業の採択を受ける中結城東部地区については、全体実施設計、用地購入及び補償等事業を計画的に進め、整備を図ってまいります。

以上により編成しました予算総額は3億2,350万8,000円で、対前年比126.6%となっております。

以上が平成24年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算の概要であります。

次に、議案第22号 平成24年度八千代町下水道事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

下水道は、私たちが安全で快適な生活をしていく上で必要不可欠な施設です。公共用水域の水質汚染防止と生活環境の改善を進めていくため、八千代町第5次総合計画の中でも「緑豊かで、安全・快適な生活環境のまちづくり」を推進する上で、町の重要課題の一つとして位置づけ、整備を進めているところです。

下水道が整備されたところにつきましては、順次供用を開始しており、平成23年度までのその面積は、仁江戸地区、東原地区及び若地区のほぼ全域と八千代中央地区、蒔田地区及び東蒔田地区の一部を合わせ、約143.05ヘクタールとなっております。本年度におきましても、八千代中央地区、蒔田地区及び東蒔田地区の一部で約2.20ヘクタールの供用開始を予定しております。

本年度の下水道事業であります。前年度に引き続き八千代中央地区及び蒔田地区の污水管布設工事等を行い、供用開始区域の拡大に努めてまいります。

以上により編成しました予算総額は、歳入歳出それぞれ3億5,622万1,000円であり、対前年比約6.6%の増となっております。

以上が平成24年度八千代町下水道事業特別会計予算の概要であります。

次に、議案第23号 平成24年度八千代町水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

水道事業につきましては、安心して利用できる生活用水の確保と清浄な飲料水の供給を目指し、町民の皆様に、より健康で快適な生活を送っていただくため、事業を推進しております。

しかしながら、東日本大震災時には、県水の供給が途絶えたことにより、一時断水を余儀なくされました。このため、平成24年度は、緊急給水用の備品等を増設して非常時に備えるとともに、放射能検査を引き続き定期的の実施してまいります。

また、昭和60年に一部給水を開始して以来、四半世紀が経過し、施設及び機器の経年劣化が進んでおりますので、定期的な保守点検、計画的な修繕や更新を行い、水道水の安定供給に努めてまいります。

さらに、経営の安定化を図るため、引き続き町水道への加入促進及び自家井戸からの切りかえ等を推進してまいります。

平成24年度の予算編成に当たっては、国、県の動向を基調に、町の予算編成方針を踏まえ、収益の拡大に努めるとともに、経費の節減、抑制を図ることとして編成したものであります。

初めに、営業業務の概要を申し上げますと、給水戸数5,615戸、年間総給水量143万1,897立方メートル、1日平均水量3,923立方メートルであります。

続いて、予算の内容について申し上げます。まず、3条予算の収益的収入及び支出ですが、収入総額を4億214万1,000円、支出総額3億7,456万4,000円とします。主な事業を申し上げますと、補助継電器盤機器更新、公共工事に伴う配水管布設替え工事等であります。

なお、支出の中には、企業債支払利息995万円が含まれております。

次に、4条予算の資本的支出であります。支出総額を1億9,705万円とし、資本的収入が資本的支出に対して不足する額1億9,705万円は、当年度分損益勘定留保資金、減債積立金により補填いたします。主な事業を申し上げますと、配水管布設工事、非常用自家発電機盤機器更新、受電盤機器更新等であります。

今後も引き続き加入者の理解と協力を得て、収益の拡大に努めながら、独立採算に沿うよう、効率的な経営を推進してまいります。

以上、一括上程されました各会計の予算について提案理由を申し上げましたが、詳細については、担当課長に補足説明させますので、慎重にご審議の上、原案にご賛同くださいようお願い申し上げます。

（「暫時休憩願います」と呼ぶ者あり）

議長（水垣正弘君） 暫時休憩をとります。

（午前 9時50分）

議長（水垣正弘君） 休憩前に戻り、会議を再開いたします。

（午前10時04分）

議長（水垣正弘君） これより予算概要について関係課長等からの説明を求めます。

初めに、議案第16号の予算概要について、企画財政課長の説明を求めます。

斉藤企画財政課長。

（企画財政課長 斉藤 実君登壇）

企画財政課長（斉藤 実君） それでは、平成24年度一般会計予算の概要を説明させていただきます。

平成24年度一般会計予算総額につきましては68億5,100万円といたしました。前年度と

比較いたしますと0.2%の微減でございます。

本年度予算の特徴をまず申し上げたいと思います。歳入面では、依然として長引く景気低迷の影響はあるものの、年少扶養控除の廃止等によりまして、個人町民税につきましては8.4%の増収を見込んでおります。固定資産税におきましては、画地補正、評価替えに伴う影響などによりまして8.6%の減収を見込み、町税全体では対前年度当初比1.0%の減で計上いたしているところでございます。

また、地方特例交付金、国庫支出金につきましては、子ども手当の制度改革によりまして国庫負担が減少し、それぞれ75.4%、6.8%減で計上しているところでございます。さらに、財源不足及び復興まちづくり支援事業交付金の活用に伴いまして、義務教育施設整備基金及び財政調整基金から1億円の繰入金を計上したことが挙げられます。

次に、歳出について申し上げますと、人件費につきましては人員の削減によりまして3.7%減、扶助費においては医療福祉費及び子ども手当制度改革により7.3%の減、補助費等では下妻地方広域事務組合負担金減などによりまして5.1%の減ということになってございます。また、公債費では、義務教育施設整備債及び防災無線施設整備債並びに道路整備事業債の一部の償還が完了したことによりまして、4.5%の減ということになってございます。

なお、普通建設事業債の27.7%増の原因につきましては、安静保育園改築事業に伴います安心子ども支援事業施設整備補助金、一般町道2号線、8号線及び筑西幹線道路改良事業、復興まちづくり支援事業交付金活用によります消防ポンプ車2台の更新、さらには八千代第一中学校基本設計、実施設計業務委託等によるものでございます。

また、繰出金では、国民健康保険、介護保険、八千代中央土地区画整理事業、下水道事業特別会計への繰り出し増によりまして、全体で12.3%増ということになってございます。

今年度の予算につきましても、厳しい財政環境の中、町行政改革大綱及び行財政集中改革プランの趣旨に沿いまして、前年度に引き続き、全庁総力を挙げて事務事業等の見直しを図るとともに、限られた財源の重点的、効率的配分を基本として編成した次第でございます。

では、一般会計予算書の9ページをお開き願いたいと思います。9ページにつきましては、歳入歳出予算事項別明細書となっております。対前年度の比較がございまして、このページを用いまして歳入全般についての概要を申し上げたいと思います。

最初に、歳入の主なものをご説明を申し上げます。

まず、町税におきましては、本年度予算額22億5,849万8,000円で、昨年より2,376万2,000円、1.0%の減収となっているところでございます。この点につきましては、個人町民税では、年少扶養控除の廃止等によりまして8.4%の増を見込みましたけれども、固定資産税においては、画地補正の導入や評価替えに伴います影響などによりまして8.6%の減を見込み、町税全体では対前年度当初比1.0%減で計上しているところでございます。

次に、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金につきましては、23年度決算見込額及び地方財政計画を勘案の上、計上してございます。なお、地方特例交付金につきましては、子ども手当交付制度改正によりまして約75%減で計上しているところでございます。

続きまして、地方交付税におきましては、地方財政計画では23年度当初出口ベースより0.5%増というようなことになってございますが、23年度決算見込額20億6,098万3,000円や過去の地方財政計画と町の実績を比較検討いたしまして、普通交付税と特別交付税を合わせまして、本年度19億6,421万2,000円、対前年当初比1.2%、2,336万6,000円減で計上したところでございます。

なお、基準財政需要額から振りかえ措置といたしまして、臨時財政対策債を、23年度の決算額4億904万8,000円に対しまして5.0%、2,045万2,000円減を見込み、3億8,859万6,000円を計上いたしました。

次に、分担金、負担金についてでございますが、保険料徴収金等でございます、7,577万8,000円を計上いたしました。昨年とほぼ同額となっているところでございます。

使用料及び手数料におきましては、保健衛生使用料などで2,966万8,000円を計上しているところでございます。内容につきましては、西山工業団地の水道使用料及び総務手数料の戸籍謄本等の窓口証明となっているところでございます。

次に、国庫支出金につきましては、本年度予算額6億1,999万4,000円で、国民健康保険基盤安定負担金332万円、社会資本整備総合交付金、これは一級町道8号線の道路改良に充当するものでございます。1,640万円などは増額となったものの、子ども手当国庫負担金が6,768万円と大きく減りまして、全体では昨年より6.8%、4,539万6,000円の減となっているところでございます。

続きまして、県支出金におきましては、本年度予算額5億4,006万1,000円で、昨年度

より8.5%、4,244万3,000円の増となっております。この点につきましては、医療費補助金578万3,000円、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金617万8,000円が減るものの、国民健康保険基盤安定負担金2,037万9,000円、安心子ども支援事業施設整備交付金1,842万円、安静保育園の改築に充当されます。緊急雇用創出事業補助金652万1,000円、農業者戸別所得補償制度推進事業補助金620万円などの増によるものでございます。

次に、財産収入でございますが、804万9,000円で、昨年度より27.2%、172万円の増につきましては、基金の利子というようなことになってございます。

続きまして、繰入金につきましては、財源不足への対応といたしまして、財政調整基金繰入金が6,000万円及び義務教育施設整備基金が4,000万円などを合わせまして1億7,000円を計上してございます。八千代第一中学校基本設計、実施設計費及び復興まちづくり支援事業交付金を活用いたしました消防車2台を更新する金額の財源としてございます。

続きまして、繰越金でございますが、昨年度と同額の1億5,300万円を計上いたしました。

諸収入でございますが、1億6,517万7,000円で、昨年度より7.0%、1,079万6,000円の増となっております。この増の主な要因でございますが、下妻広域事務組合の派遣職員3名がございまして、この負担金の計上をしたところでございます。

続いて、地方債につきましては5億3,799万6,000円で、昨年度より3.6%、2,017万円の減となっております。内容でございますが、民生事業債、保育園の施設整備事業債が730万円、道路橋梁債、地方道等の整備事業債が1,130万円がふえることになってございますが、農業債、畑地帯総合整備事業債などが1,060万円、さらには臨時財政対策債が2,817万円の減というような状況でございます。

以上が歳入の概要でございます。

また、予算書の6ページには、第2表に地方債につきまして、起債事業の一覧表というようなことで計上させていただきました。ご覧おきをいただきたいと思います。

続きまして、歳出の主なものにつきまして説明をさせていただきます。

予算書ではございませんが、資料ナンバー1の一般会計予算関係資料の5ページをお開きいただきたいと思います。予算書とは別に配付をさせていただいた、このようなものになります。その5ページをお願いいたします。よろしいでしょうか。

歳出性質別の内訳により説明をさせていただきます。

まず、義務的経費の一つでございます人件費につきましては、合計で14億5,280万6,000円でございます。昨年度より3.7%、5,504万2,000円の減となっております。定員削減に伴いまして、職員給、共済組合等の負担金等の減が大きな要因となっております。

続きまして、この表の中段やや下でございます義務的経費の扶助費について説明をさせていただきます。扶助費の合計につきましては11億8,970万5,000円で、対前年度比7.3%、9,338万2,000円の減となっているところでございます。これにつきましては、医療福祉費2,856万8,000円、制度改正によります子ども手当費6,528万円等の減が主なものとなっております。

次に、下に移りまして公債費でございます。借入金の返済というようなことになってございます。今年度の当初予算額につきましては7億621万1,000円でございます。昨年度より4.5%、3,358万円の減となっているところでございます。内訳を申し上げますと、財源対策債が1,655万円、教育債が2,079万1,000円等の元金については増加いたしますけれども、農林業債2,313万6,000円、消防債2,949万1,000円及び臨時経済対策債が826万5,000円等の元金並びに教育債、総務債の利子の減によりまして、このような数字になっているところでございます。

続きまして、若干上に戻らせていただきまして、物件費の欄をご覧いただきたいと思います。合計につきましては9億74万5,000円でございます。昨年度より0.5%、470万6,000円の増となっております。備品購入費が1,243万1,000円減額になってございますけれども、賃金で238万4,000円及び委託料が1,350万9,000円並びに中学校パソコンリース等によりまして424万1,000円などが増となっているところでございます。

続いて、下にまいりまして維持補修費でございますけれども、予算額が1,953万1,000円でございます。昨年度より23.7%、374万2,000円の増となっております。道路維持補修及び防火貯水槽の補修費となっているところであります。

続きまして、下から2段目の繰出金について申し上げさせていただきます。特別会計への繰出金というようなことになってございます。今年度の予算額につきましては、8億7,890万円と昨年度の当初より12.3%、8,875万円の増となっているところでございます。国民健康保険特別会計予算への繰り出しが6,384万1,000円、介護保険特別会計への繰り出しが1,100万円、中央土地区画整理事業特別会計への繰り出しが1,500万円それぞれ

れ増となっているところです。そのほか後期高齢者医療特別会計、農業集落排水事業及び下水道特別会計につきましては、若干の増減はありますけれども、昨年とほぼ同額というようなことになってございます。

続きまして、中段から少し下にごございます補助費の欄ですが、11億4,427万6,000円につきましては、昨年度より6,173万円、5.1%の減というようにございまして。主な減の要因といたしましては、下妻地方広域事務組合負担金の7,028万1,000円の減が大きく影響しているところでございます。これは、事務組合のほうの施設の起債が完了したというようなことで、このような減額が大きく出たような次第でございまして。

続きまして、その下の普通建設事業についてご説明をさせていただきます。今年度予算額6億674万円、対前年度比1億3,173万6,000円、27.7%の増となっているところでございます。平成24年度の事業につきましては、資料の6ページ、さらには7ページに主な事業の一覧表がございまして。ご覧おきいただければと思います。

昨年より27.7%の増のプラスの要因といたしましては、議会の関係では議長車の更新事業431万8,000円、民生関係では安心子ども支援事業施設整備事業債2,763万5,000円の増、安静保育園の改築に伴うものです。さらには、農林業関係では憩遊館源泉湯湯ポンプ改修事業1,425万4,000円、土木関係では一級町道2号線及び8号線並びに二級町道2号線道路改良事業等で2,081万円の増、さらには筑西幹線道路整備事業で2,100万円というように計上させていただきました。それから、消防関係では、消防ポンプ車の更新2台分で3,612万円、教育関係では八千代第一中学校改築事業の基本並びに実施設計費で4,000万円となっております。

また、マイナスの要因といたしましては、農林事業関係で中結城及び下結城県営畑地帯総合土地改良事業1,635万円の減、教育関係では昨年度熱中症対策というように扇風機の設置を1,000万円計上させていただいたものが減と。などによりまして、対前年度比で27.7%の増という状況でございまして。

続いて、8ページをお開きいただきたいと思います。8ページにつきましては、各特別会計の平成18年度から24年度当初予算におきます繰出金及び一部事務組合等の負担金の状況となっておりますので、ご覧おきをいただきたいと思います。

9ページに移らせていただきます。9ページは、基金残高の推移となっております。23年度の最終見込額につきましては、財政調整基金初め特定目的基金、定額運用基金を含めまして21億6,780万5,000円の見込みでございまして。また、24年度、本年度の当初予

算に1億円の取り崩しの計上をしているところでございます。

続いて、10ページに移らせていただきます。10ページにつきましては、一般会計の起債の残高の内訳となっております。10ページ以降12ページまで起債残高が載っていますが、12ページの最終合計をご覧いただければと思います。23年度の借り入れ見込額を含めました残高につきましては、63億6,206万円というふうな状況でございます。八千代町全体では、平成23年度見込みで、一般会計と特別会計を合わせました起債残高につきましては、122億8,180万9,000円となるところでございます。

参考に申し上げますと、戸数1戸当たりにつきますと、一般会計、各特別会計を合計いたしますと、1戸当たり約190万円、一人当たりで申し上げますと53万円ほどの起債残高があるというような状況になります。

それから、参考でございますが、一般会計の対前年度比につきましては、先ほども申し上げましたが、0.2%の減というようなことでございますが、各特別会計を合計いたしました24年度の予算総額につきましては57億2,623万6,000円、対前年度比4.6%の増というようなことになります。また、一般会計と特別会計を含めました八千代町全体の予算総額につきましては125億7,723万6,000円、対前年度比で2億3,704万2,000円、1.9%の増というようなことになってございます。

以上の一般会計予算の概要についてご説明を申し上げます。ご審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

議長（水垣正弘君） 次に、議案第17号、議案第18号の予算概要について、町民課長の説明を求めます。

小竹町民課長。

（町民課長 小竹貞男君登壇）

町民課長（小竹貞男君） それでは、議案第17号 平成24年度八千代町国民健康保険特別会計予算及び議案第18号 平成24年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算につきましてご説明いたします。

予算説明の前に、平成24年度の国保制度上の主な改正事項について、2点についてご報告をいたしたいと思っております。まず、1点目でございますけれども、高額療養費の支払い方法の現物給付化についてでございます。高額療養費につきましては、現在、入院時に限りまして、町国保が発行いたします限度額適用認定書を医療機関等に提示することによりまして、自己負担限度額までの支払いで済んでおるところでございます。しかし、

外来の診療につきましては、窓口で自己負担額、1割から3割ございますけれども、その診療費用をお支払いいただきまして、後に町国保のほうへ高額療養費の支給申請の手続をいただきまして、限度額を超える分を後で払い戻すという方法になってございます。これにつきまして、本年4月1日から、入院と同様に、限度額適用の認定書を提示することによりまして、窓口の支払いが一定の額で抑えられるというふうになりました。

2点目でございますけれども、70歳から74歳の被保険者の一部負担金についてでございます。70歳から74歳、いわゆる70歳代前半というふうに呼ばれているわけですが、その方の一部負担金につきましては、本来は2割の負担ということになってございます。それが、軽減特例措置によりまして、平成20年度から23年度まで1割に凍結をされておりまして、本年4月からは本来の2割に戻るといふこととされておりましたが、平成25年の3月まで、24年度ですね、1年間延長されることとなりましたので、1割の負担で済むという状況でございます。

以上が直接町民の皆様にかかわる主な改正点でございます。

それでは、国民健康保険特別会計予算の概要について、資料ナンバーが2という資料が配付されているかと思えます。こういうふうな別紙で2枚つづりでございますけれども、こちらの資料ナンバー2のほうをご覧いただきたいと思えます。

それでは、資料ナンバー2、1ページを開いていただきたいと思えます。本年度の予算総額でございますが、歳入歳出それぞれ27億3,610万6,000円とするものでございます。前年度予算と対比しますと7,807万2,000円増、前年度比では2.9%の増となっております。

それでは、歳入から申し上げます。本年度予算額と比較増減の欄をご覧いただきたいと思えます。

国民健康保険税ですけれども、前年度より1,602万4,000円の増、2%の増ということでございまして、8億1,037万6,000円ということで見込みました。これは、全体の29.6%に当たります。

次に、款の2一部負担金、款3使用料及び手数料につきましては、前年同様、座敷のみとなっております。

次に、款4国庫支出金につきましては、療養給付費、介護納付金、後期高齢者支援金、普通調整交付金等で2,919万1,000円の増、前年比3.4%増の8億8,844万円といたしました。全体の32.5%に当たります。

次に、款5療養給付費等交付金につきましては、退職被保険者等に係る療養費及び後期高齢者支援金等の相当額でございます。2,595万3,000円増、49%の増で7,889万9,000円となっております。全体の2.9%に当たります。

次に、款6前期高齢者交付金につきましては、65歳から74歳までの被保険者の数の偏在による保険者間の医療及び後期高齢者支援金の負担の不均等を調整するための制度でございます。6,859万3,000円増、45.2%前年より増となりまして、2億2,035万6,000円を計上いたしました。全体の8.1%に当たります。

次に、款7県支出金でございますけれども、1億9,005万7,000円、17.9%の増に当たります。全体の6.9%に当たります。

次に、款8共同事業交付金でありますけれども、高額医療にかかわるものでございまして、2,471万円減の3億4,349万6,000円としました。これは、平成23年度の実績、また前期高齢者財政調整制度の影響などから、国保連合会からの交付金の減額を見込みました。全体の12.6%に当たります。

次に、款9財産収入につきましては、昨年同様、座敷のみでございます。

次に、款10繰入金につきましては、本年度は基金の繰り入れはございませんので、3,615万9,000円の減額でございます。1億6,777万1,000円といたしました。全体の6.1%に当たります。

次の款11繰越金につきましては3,000万円ということで、前年比から見ますと2,900万1,000円減としてございます。

次に、款12諸収入でございますけれども、特定健診等の負担金などで670万7,000円を計上いたしました。

続きまして、歳出について申し上げます。款1総務費でございますけれども、209万9,000円増の1,195万6,000円を計上いたします。

次に、款2保険給付費16億3,818万3,000円。これは、過去4年間の療養給付費等の実績を踏まえつつ、前年度より5,958万1,000円増額してございます。歳出全体の59.9%を占めてございます。

次に、款3後期高齢者支援金等としまして、国の算定方式に基づきまして4,809万3,000円増の4億7,425万4,000円を計上いたしました。全体の17.3%に当たります。

続きまして、款4前期高齢者納付金につきましては、これも国の算定方式に基づきまして65万4,000円減の57万5,000円を計上いたしました。

款5 老人保健拠出金でございますけれども、前年度より109万4,000円を減額いたしまして25万1,000円となります。これは、老人保健から後期高齢者医療制度への移行に伴いまして、19年度以前の精算分として、少しでございますけれども、計上してございます。

次に、款6 介護納付金につきましては、社会保険診療報酬支払基金への納付金でございます。前年度より55万円減額をいたしまして、2億1,112万2,000円となっております。これも同様に、国の算出方式により算定したものでございます。

次に、款7 共同事業拠出金でございますが、2,943万3,000円の減の3億6,708万1,000円を計上いたしました。これは、保険財政共同安定化事業の拠出金の計上によるものでございまして、国保連合会のほうで算出したものを計上しております。

次に、款8 保健事業費につきましては、1,807万8,000円を計上いたしました。これは、主に特定健診の事業分、また事務事業の経常経費でございます。

次に、款9 基金積立金は座敷のみでございます。

次に、款10 諸支出金につきましては、460万5,000円を計上いたしました。これは、保険税の過誤納還付金が主なものでございます。

次の款11 予備費につきましては、昨年同額の1,000万円を計上いたしました。

以上が歳入歳出の概要でございます。

下の表でございますけれども、歳入歳出の予算を円グラフであらわしたものでございます。後ほどご覧おき願いたいと思います。

次に、2ページをご覧いただきたいと思います。これは、平成15年度から24年度までの一般被保険者と退職被保険者の療養費の推移、また保険税の推移をあらわしたものでございます。

3ページにつきましては、平成19年度から24年度までの保険税の賦課割合状況と平成21年度から24年度までの被保険者の推移を表にあらわしております。後ほどご覧をいただきたいと思います。

以上で平成24年度八千代町国民健康保険特別会計予算の説明を終わります。

引き続きまして、平成24年度八千代町後期高齢者医療特別会計の概要についてご説明申し上げます。資料ナンバーが3というものがございます。やはり2枚ぺらのものでございます。こちらのほうをご用意をお願いしたいと思います。

後期高齢者医療制度につきましては、茨城県後期高齢者医療広域連合が主体となって運営しております。この制度につきましては、政権交代によりまして、現行の制度を廃

止しまして、平成25年4月から新たな制度へ移行するとの方針が示されております。厚生労働省においては、国会への法案提出を目指しましたが、全国知事会や与野党との調整に時間を要しまして、新たな制度への移行は、最短でも平成26年3月と見込まれております。しかしながら、今回の大震災に伴いまして、復興作業が最優先課題となっております。新制度移行スケジュールの見通しは、一段と不透明な状況となっているところでございます。

それでは、平成24年度の後期高齢者医療特別会計の概要について申し上げます。1ページをごらんください。本年度の予算総額につきましては、歳入歳出それぞれ1億5,166万1,000円とするものでございます。昨年度より126万7,000円、0.8%の減となっております。

それでは、歳入から申し上げます。款1 後期高齢者医療保険料につきましては、前年より153万2,000円の増、1.6%でございます。9,730万1,000円となります。構成率は64.2%でございます。

次に、款2 使用料及び手数料につきましては、座敷のみ計上してございます。

次に、款3 繰入金につきましては、前年並みの4,912万円を計上しました。構成率は32.4%となります。

次に、款4 繰越金につきましては、前年度繰越金として100万円を計上しました。

次に、款5 諸収入につきましては423万9,000円を計上しました。

続きまして、歳出について申し上げます。総務費でございますけれども、453万9,000円を計上してございます。

次に、款2 後期高齢者医療広域連合納付金としまして、144万8,000円増、1%でございますけれども、増になりまして、1億4,512万1,000円を計上しました。歳出の大半となる95.6%の構成率となっております。

款3 諸支出金につきましては100万1,000円。

款4 予備費につきましては100万円を計上してございます。

下の円グラフは構成比率を示しております。

2ページにつきましては、自己負担額を外来、入院、食事、高額の治療を長期間続けるときの区分により示してございます。

3ページには、保険料確定賦課等の内訳及び保険者数を示してございます。後ほどご覧おきください。よろしく申し上げます。

なお、去る2月28日でございますけれども、茨城県後期高齢者医療広域連合定例議会におきまして、平成24、25年度の保険料の改定がございました。均等割で3万7,462円から3万9,500円に2,038円の増、所得割率で7.6%から8%に0.4%の増ということで決定してございます。したがって、今後、保険料率の改定に伴いまして、補正予算編成が必要となってくると考えております。またその節はご審議のほうよろしくお願いをしたいと思います。

これをもちまして、平成24年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算の説明を終わります。

以上で議案第17号及び18号の説明を終わらせていただきます。

議長（水垣正弘君） 次に、議案第19号の予算概要について、福祉保健課長の説明を求めます。

生井福祉保健課長。

（福祉保健課長 生井勝巳君登壇）

福祉保健課長（生井勝巳君） それでは、議案第19号 平成24年度介護保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

お手元に配付してあります資料ナンバー4をご覧くださいと思います。介護保険につきましても、保険給付費を中心とした保険事業勘定及び地域包括支援センターのサービス計画収入を主なものとする介護サービス事業勘定の予算でございます。

まず、保険事業勘定から主なものについてご説明申し上げます。1ページをお開きいただきたいと思います。1ページの総括表でございますが、歳入歳出予算総額は14億1,169万9,000円となります。前年度予算と比較しますと4,083万3,000円の増額となっております。

歳入ですが、款1の保険料が2億8,146万2,000円で、59%の増となります。これは、第5期老人福祉計画において、サービス利用者及び認定者の増加、積み立て準備基金の繰り入れがないほか、第1号被保険者の負担率の増、財政調整交付金の減、介護報酬及び地域手当の改定があり、大幅な増加となっております。

款3の国庫支出金が3億3,408万6,000円で、前年比2%の減となっております。

款4の支払基金交付金が3億8,956万2,000円で、前年比2%の減となります。

款5の県支出金が2億787万3,000円で、前年比4%の増となっております。

款7の繰入金ですが、1億9,400万2,000円で、前年比21%の減となります。繰入金で

すが、一般会計からの繰入金で、給付費への法定繰入金1億7,113万7,000円、事務費繰入金1,737万7,000円及び地域支援事業費の繰入金548万6,000円等でございます。

款8の繰越金は、前年度からの繰り越し見込額467万1,000円で、前年比57%の減となっております。

次に、歳出ですが、款1の総務費が1,737万7,000円で、前年比7%の減となっております。

款2の保険給付費が13億5,962万9,000円で、3.2%の増となりますが、これは主にサービス利用の増加を見込んだものとなっております。

款4の地域支援事業費は2,998万円で、約0.6%の増となっております。

款7の諸支出金21万円は、15万5,000円の増となっております。

款8の予備費につきましては450万円で、前年度と同額でございます。

以上、歳入歳出合計が14億1,169万9,000円で、前年度13億7,086万6,000円に対して3%の増となっております。

下の円グラフについては、歳入歳出の構成比についてあらわしたものでございます。まず、歳入ですが、歳入の一番多いのは支払基金交付金でありまして、全体の27%を占めてございます。次に大きいのが国庫支出金で23.7%、以下、保険料が19.9%、県支出金が14.7%、繰入金が13.8%、繰越金が0.3%となっております。

右側の歳出で一番大きいのが保険給付費で全体の96.3%でありまして、以下、地域支援事業費が2.1%、総務費が1.3%、予備費が0.3%になってございます。

次に、2ページをご覧いただきたいと思えます。表2は、保険給付費についてでございますが、平成20年度から21年度、22年度、23年度見込み、24年度予算額ということでの推移でございます。平成21年度より高額医療合算介護ということで、これは表の下のほうになりますけれども、創設されてございます。

表3、一番下でございますが、これが地域支援事業費の推移でございます。

次に、3ページをご覧いただきたいと思えます。表4でございますが、サービスの利用状況でございます。居宅サービスの利用者が伸びまして、施設サービスの中では特別養護老人ホームの利用者が多く伸びてございます。

表5でございますが、第1号被保険者の保険料月額の内訳でございます。1期から第4期までは微増となっていましたが、歳入でご説明いたしましたとおり、設定要件のとおり、第5期の基準額が大幅な伸びとなっております。

次に、4ページをご覧いただきたいと思います。表6でございますが、保険料収入の徴収区分の推移ですが、特別徴収が伸びまして、普通徴収は減となっておりますが、全体的には増加となっております。

表7でございますが、平成24年度保険料収入を見込むに当たって、所得段階別の内訳であります。基準となります第4段階、これが50%を超える状況となっております。

一番下、表8でございますが、介護給付費準備基金の積立額の推移でございます。平成21年度、22年度、23年度は、基金の取り崩しのためにマイナスとなっております。

次に、5ページをご覧いただきたいと思います。表9でございますが、これは介護度別認定者の推移でございます。

続きまして、表10でございますが、介護サービス事業勘定に関する総括表でございます。歳入歳出予算総額が625万円でございます。(1)の歳入でございますが、款1のサービス収入は604万9,000円で、介護予防支援サービス計画収入でございます。

2の繰越金は20万円を見込んでございます。

(2)の歳出でございますが、款1の事業費は600万円で、介護予防サービス計画作成委託料の支出でございます。

款2の諸支出金は20万円で、保健事業勘定への繰出金でございます。

款3の予備費は5万円です。

以上が平成24年度介護保険特別会計予算の説明でございます。慎重審議のほどよろしくお願い申し上げます。

議長（水垣正弘君） 次に、議案第20号の予算概要について、都市建設課長の説明を求めます。

上野都市建設課長。

（都市建設課長 上野真一君登壇）

都市建設課長（上野真一君） 議案第20号 八千代中央土地区画整理事業特別会計予算の概要についてご説明をいたします。

資料ナンバーの5をご覧願います。資料ナンバー5になります。平成24年度の歳入歳出予算額はそれぞれ1億4,160万円で、前年度と比較しまして3,010万円の増、対前年比で127%となっております。

それでは、まず歳入の主なものを説明させていただきます。項1事業収入3,550万円で、前年度と比較しまして1,450万円の増、対前年度比169%です。これは、保留地処分金で

ありまして、第1工区内で3区画の処分を見込んでおります。また、交番敷地の平成24年度分割分と2名の方の分割分の収入を予定しております。

項2国庫支出金770万円につきましては、第2工区が平成24年度から国庫補助の対象となりますので、対象事業費の55%を計上したものであります。

項3繰入金7,999万8,000円で、前年度と比較しまして1,500万円の増、対前年比123.1%です。これは、一般会計からの繰入金であります。

項の6町債1,640万円、前年度と比較しまして610万円の減、対前年比で72.9%です。これは、区画整理事業の事業債を借り入れるものでありまして、工事費、補償費等の起債対象事業費の90%を計上しているものであります。

以上が歳入の概要でございます。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。項の1総務費1,876万6,000円で、前年度と比較しまして1,104万円の減、対前年度比63%です。総務費は、職員2人分の人件費が主なものであります。

項2第1工区区画整理事業費6,836万3,000円と、項3第2工区区画整理事業費1,759万9,000円は、前年度と比較しまして4,160万9,000円の増、対前年度比193.8%です。本年度は、家屋物件算定業務、移転補償、都市計画道路、区画道路の築造及び整地工事等を実施する予定であります。詳しい事業概要につきましては、裏面に記載してございますので、よろしくをお願いをしたいと思います。

項の4公債費3,487万2,000円で、前年度と比較しまして46万9,000円の減、対前年比98.7%であります。公債費は、借入れの長期債元金と利子の償還分であります。

裏面の円グラフは、歳入歳出の構成比をあらわしたものでありますので、後ほどご覧おきいただきたいと思います。

以上が八千代中央土地区画整理事業特別会計予算の概要でありますので、よろしくご審議のほどをお願いいたします。

以上です。

議長（水垣正弘君） 次に、議案第21号、議案第22号、議案第23号の予算概要について、上下水道課長の説明を求めます。

幸田上下水道課長。

（上下水道課長 幸田裕之君登壇）

上下水道課長（幸田裕之君） それでは、議案第21号 平成24年度八千代町農業集落排

水事業特別会計予算、議案第22号 平成24年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第23号 平成24年度八千代町水道事業会計予算の概要についてご説明いたします。

初めに、お手元に配付してある資料ナンバー6、八千代町農業集落排水事業特別会計予算をご覧ください。平成24年度の歳入歳出は、ともに3億2,350万8,000円で、前年に比較して6,800万9,000円の増額となります。対前年比126.6%でございます。

歳入の主な増額については、新規事業であります中結城東部地区の分担金、国庫支出金、町債等であります。歳出の主な増額は、中結城東部地区の事業費で、委託料と用地購入費及び補償費等であります。

それでは、最初に歳入の主なものについてご説明いたします。科目1 分担金及び負担金905万2,000円で、前年度と比較して745万円の増、対前年比565.0%です。これは、中結城東部地区の分担金と既に供用を開始しています地区の新規加入分であります。

科目2 使用料及び手数料6,512万8,000円で、前年度と比較して51万4,000円の増、対前年比100.7%です。これは、現在までに供用を開始している12施設の使用料であります。

科目3 国庫支出金3,484万5,000円で、中結城東部地区の補助金であります。

科目4 県支出金2,128万円で、前年度と比較して360万円の減、対前年比85.5%です。これは、地方債の償還に要する財源として、年度ごとの国庫事業費の2%ずつ5年間交付され、農業集落排水事業推進交付金として計上しています。

科目6 繰入金1億2,800万円で、前年度と比較して3,100万円の減、対前年比97.6%です。これは、一般会計から1億1,500万円及び町債償還準備基金から1,300万円の繰入金であります。

科目7 繰越金200万円で、昨年と同額であり、前年度からの繰り越し見込額です。

科目9 町債6,320万円で、前年度と比較して3,190万円の増、対前年比201.9%です。これは、中結城東部地区の通常債3,170万円、資本費平準化債1,700万円、借換債1,450万円であります。

以上が歳入の概要であります。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。科目1 農業集落排水管理費9,335万9,000円で、前年と比較して41万8,000円の増、対前年比100.4%です。主なものでは、供用を開始している12処理施設の維持管理で、需用費の光熱水費、施設の老朽化等による修繕料、役務費の汚泥引き抜き料、施設管理委託料と町債償還準備基金積立金であります。

科目2 農業集落排水事業費9,307万7,000円で、前年と比較して6,618万5,000円の増、対前年比346.1%です。主に職員の人件費、中結城東部地区の全体実施設計、処理施設の基本設計委託料、用地購入費及び補償費であります。

科目3 公債費1億3,507万2,000円で、前年度と比較して140万6,000円の増、対前年比101.0%です。これは、長期債元金利子及び借りかえに伴う償還金であります。

科目4 予備費については、前年と同額の200万円を計上しています。

裏面に歳入歳出の構成比及び中結城東部地区事業の概要がありますので、後でご覧おき願います。

以上が八千代町農業集落排水事業特別会計予算の主な概要であります。

続きまして、お手元に配付してある資料ナンバー7、八千代町下水道事業特別会計予算をご覧ください。平成24年度の歳入歳出は、ともに3億5,622万1,000円で、前年に比較して2,225万1,000円の増額となります。対前年比106.6%でございます。

歳入の主な増額については、国庫支出金、町債等であります。歳出の増額は、事業費の委託料、工事費等であります。主な工事は、公共地区では中央地区内L=333メートル、特環地区では落田地内L=406メートルについて整備をする計画であります。

それでは、最初に歳入の主なものについてご説明いたします。科目1 分担金及び負担金600万8,000円で、前年度と比較して171万6,000円の減、対前年比77.7%です。これは、平成24年度に供用開始となります地区と分割納付による受益者負担金であります。

科目2 使用料及び手数料1,614万1,000円で、前年と比較して79万5,000円の増、対前年比105.1%です。これは、主に使用料であります。

科目3 国庫支出金4,520万円で、前年と比較して360万円の増、対前年比108.6%です。これは、社会資本整備総合交付金であります。

科目6 繰入金2億737万円で、前年と比較して737万円の増、対前年比103.6%です。これは、一般会計から2億200万円及び下水道事業基金から537万円の繰入金であります。

科目7 繰越金100万円で、前年と比較して300万円の減、対前年比25%です。前年度からの繰り越し見込額です。

科目9 町債8,050万円、前年と比較して1,520万円の増、対前年比123.2%です。これは、公共下水道事業1,470万円、特定環境保全公共下水道事業4,550万円、資本費平準化債2,030万円であります。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。科目1 下水道総務費5,238万9,000円

で、前年度と比較して82万6,000円の増、対前年比101.6%です。主に職員の人件費、報償費及び各種負担金であります。

科目2 下水道管理費4,260万7,000円で、前年度と比較して52万3,000円の増で、対前年比101.2%です。主なものでは、鬼怒小貝流域下水道維持管理負担金、流量計及びマンホールポンプ管理委託料等であります。

科目3 公共下水道事業費1億997万5,000円で、前年度と比較して1,483万2,000円の増、対前年比115.5%です。主なものでは、実施設計委託料、工事請負費、補償費等でありませぬ。

科目4 流域下水道事業費21万5,000円で、前年度と比較して23万2,000円の減、対前年比48.0%です。鬼怒小貝流域下水道事業建設負担金であります。

科目6 公債費1億5,003万4,000円で、前年度と比較して630万2,000円の増、対前年比104.3%です。これは、長期債元金及び利子の償還金であります。

予備費については、前年と同額の100万円を計上しています。

裏面に歳入歳出の構成比及び町公共下水道事業、県事業の鬼怒小貝流域下水道事業の概要がありますので、後でご覧おき願います。

以上が八千代町下水道事業特別会計予算の主な概要であります。

続きまして、お手元に配付してある資料ナンバー8、平成24年度水道事業会計予算をご覧ください。平成24年度水道事業会計予算の概要についてご説明いたします。

1 ページをお開きください。2の平成24年1月31日現在の給水状況であります、加件数5,572件、給水人口2万1,086人、給水率88.4%になっています。

2 ページをお開きください。平成17年から平成24年度における水道事業会計予算の推移状況であります。

3、4 ページをご覧ください。水道事業企業債明細書であります、発行総額12億7,590万円に対し、未償還高は5億8,223万9,201円であります。

5 ページをお開きください。平成24年度水道事業会計予算総括表をご覧ください。3条予算においては、収入では給水収益の増、支出では原水費、浄水費、配水費等が減になっております。

収入については、1、営業収益3億9,607万3,000円で、水道料金、量水器使用料、他会計負担金、加入金等であります。

2、営業外収益606万8,000円で、主に配水管布設替工事補償金等であります。

支出ですが、1、営業費用が3億3,996万3,000円で、内訳としましては原水費が8,856万1,000円で、主に県水の受水費、修繕費、動力費等であります。

浄水費は3,782万9,000円で、主に委託料、修繕費、動力費、薬品費等であります。

配水費は3,786万9,000円で、主に委託料、修繕費、動力費等あります。

総係費は6,789万4,000円で、主に事務費、職員の人件費、そして委託料の夜間警備業務、電算処理業務、検針業務等であります。

減価償却費は1億698万1,000円であります。

2、営業外費用が1,960万1,000円で、内訳として企業債支払利息、消費税等であります。

3、予備費については、前年と同額の1,500万円を計上しています。

4条予算における資本的収入は、事業による起債等がなく、支出のみとなっております。

1の建設改良費が3,718万1,000円で、内訳としまして、施設費は2,927万3,000円で、配水管布設工事、非常用自家発電機盤更新、受電盤機器更新等であります。

資産購入費は790万6,000円で、量水器更新等にかかわるものであります。

2の企業債償還金は1億5,986万9,000円で、企業債元金であります。

なお、資本的収入の不足分については、当年度損益勘定留保資金及び減債積立金で補填するものであります。

6ページは3条予算の収益的収入・支出、7ページは4条予算の資本的支出を円グラフで示したものです。後でご覧おき願います。

以上が平成24年度の八千代町農業集落排水事業特別会計予算、八千代町下水道事業特別会計予算、八千代町水道事業会計予算の概要であります。よろしくご審議くださるようお願いいたします。

議長（水垣正弘君） 以上で各課長等の予算概要の説明を終わります。

これから質疑を行います。

なお、本件は、関係の各常任委員会に付託する予定でありますので、質疑は簡潔にお願いをいたします。

質疑ありませんか。

13番、大久保敏夫議員。

13番（大久保敏夫君） 一般会計のほうを1つと特別会計1つ。

まず、1つは、私も教民委員会ですので、この問題、どっちにしても委員会で聞けば聞けることなのですが、ただよその議員さんもある程度その部分を知りゆくことが一番いいと思いますので。

90ページ、教育関係のほうで、一中の基本設計、そしてまた本設計にかかわる4,000万円が出ているわけですが、財源的にその他の一般財源、県支出金等々ではなくて、その他の財源とありますけれども、その他の財源の出しもとがどこからの財源になるのか。また、4,000万円と積算した基礎的な部分です。これが、どのくらいなことを想定してこの4,000万円という数字が積算されてここに計上されているのか、このことだけお願いをしたいと思います。

続いて、特別会計の農業集落排水事業なのですが、これについては12ページあるいはまた違う資料等で、先ほどから中結城東部地区の問題が出ているわけですが、中結城東部地区といういわば地域がどこを指しているのか。加えてまた、鬼怒小貝流域下水道と中結城地区における集落排水事業というものが、鬼怒小貝流域下水道とどのような整合性を持って今回このような形になり得たのか、それを説明をお願いしたい。加えて、先ほど言われたように、5,000万円のいわば全体的な部分も一つにあるのですが、これは単に東部地区だけではないわけですが、ただ公有地の財産の購入は何をもってして購入するのか、あるいはまた補償は、どのような補償の形で今回何を補償しようとしているのか、そのことだけお願いをしたいと思います。

議長（水垣正弘君） 最初に、水書学校教育課長。

（学校教育課長 水書正義君登壇）

学校教育課長（水書正義君） 13番、大久保議員さんの質問にお答えします。

私の質問は、財源のその他の4,000万円のまず内訳と。これにつきましては、義務教育整備基金の4,000万円を充当させていただいております。

設計関係の4,000万円の基本的な積算基礎というものにつきましては、一応参考にしていただきました積算基礎の大もとは、国土交通省で新基準算定の表がございます。それらをもとにまず算出いたしまして、もう一つは県の営繕課、やっぱり基本設計、実施設計というものが大分見積もっておりますので、それらも参考にさせていただいた中での財源の、財政との交渉の中で4,000万円に落ちついたという形になっております。

以上でございます。

議長（水垣正弘君） 次に、幸田上下水道課長。

(上下水道課長 幸田裕之君登壇)

上下水道課長(幸田裕之君) 私への質問は、中結城東部地区とはどこの地区かというふうなことかと思えますけれども、中結城東部地区につきましては、佐野東、瀬戸井上、瀬戸井下、兵庫沼端、前田行政区の5行政区になっております。

あと、鬼怒小貝流域下水道との整合性というか取り合いの関係かと思えますけれども、鬼怒小貝流域下水道については既に計画がされておりました、流域の断面で本管が布設されているというようなことであって、農業集落排水事業とはまた別な事業になりました、生活排水ベストプランというのがありまして、農業集落排水の区域と広域下水道の区域と、それと浄化槽区域というふうな形で計画がされていて、八千代町でも14カ所農業集落排水地区があるわけですが、昭和63年に佐野西が供用開始して以来、平成20年の6月に川西南部地区が供用開始して、現在12地区が供用開始している状態です。それで、中結城東部地区の整備を24年度から行う計画になっております。

次に、補償関係かと思えますけれども、中結城東部地区に関しては、処理場の用地購入を今年度、24年度に予定しております。その用地購入のために、委託料として不動産鑑定評価委託料だとか計上してありますけれども、その中で、その用地にナシの棚があるものですから、その棚の補償というふうなことで予算のほうは計上させていただいております。

以上です。

議長(水垣正弘君) 13番、大久保敏夫議員。

13番(大久保敏夫君) 今2人の課長からお答えをいただいたのですが、どちらも肝心な聞こうとする部分は抜けている。

まず、一中の問題の基礎的な部分が、ではこれは1,000平米の学校を建てようとしているのか、5,000平米の学校を建てようとしているのか。そんなものなくて、何を基礎にして、では単なる、県と打ち合わせしたらつくるのだと。では、ある程度の大きい規模がなければ、設計屋がではただ取りしてしまうのではないですか。そこの積算基礎が必ずあるはずだから、それはちゃんと、今議員がいる、これから常任委員会等も含めて、この問題をまた委員長に、だれが聞くというわけにもなかなかいかないのが、お互いの今までのならわしだから。だから、その辺のところははっきりと開示しておかないと、みんなして気持ちよく、これからの子どもたちの教育を、耐震構造等も含めた中でいろんな地震が来る来ないの話をしているわけだから、早急につくらなくてはならないわけ

だから、そういうものをね。

やっぱりどのくらいの規模をつくるために、この設計が組まれたのか。100平米の学校を建てるのに4,000万円も取られるのかという理屈もある。その辺のところを含めて、ある程度の規模は予想されているわけでしょうから、それを資料が手元があればお聞かせ願いたい。

あと、先ほど農集排の関係は、私の考え方からすれば、先ほど言ったように、鬼怒小貝流域下水道との整合性をどうとるのだと。八千代町がどうとるのだということなので、八千代町が。基本的には川西と西豊田と、中結城のある一部の離れ小島的な部分はやろうというのが農業集落排水事業の取り組みであったと。今回よそでも、中結城、安静、下結城で、鬼怒小貝流域下水道は、みんなして待っているわけだから。だけれども、宛として進まないの、遅々として進まないから、多分今言われた、幸田課長が言った、1つの地区を、連合地区を選んで中結城東部地区となぞらえて今回の話になったわけですが、ここまで組み上がってきたものを、だめだ、いい話ではないけれども、では今後また中結城で、菅谷西部とか伊勢山とか、「じゃ、おらほうもやってくれ」と言ったときに、また取り組んでくるのか。その辺のところの基本的な部分の考え方をちゃんとしておかないと、何のための鬼怒小貝流域下水道が鬼怒川の向こうから仁江戸を通りながら入ってくるのか。今は基本として、都市計画に基づいたこの役場周辺が最優先ということでありましょうけれども。私はだから、その鬼怒小貝流域下水道との整合性をどうとったのかということを知りたい。

今の立場論で、なったばかりだから、そういうものの経緯というものはわからないだろうけれども、その辺のところを。課長に聞いてもしようがないから、町長のほうにも、何か感想があれば。ちょっとまだおれは終わっていないから。

では、そういうことで、そのお二人にもう一回お話をお願いします。

議長（水垣正弘君） 学校教育課長。

（学校教育課長 水書正義君登壇）

学校教育課長（水書正義君） 13番、大久保議員の質問にお答えいたします。

積算につきましては、国土交通省の基準の様式等をいただき、また県営繕課につきましても算出様式等をいただきまして、検討委員会の答申でいただきましたように、6,400平米程度を基準に算出しまして、それぞれ様式に基づいて算出した中では、それ相当の幅がございました。予算要求の段階で6,000万円程度の基本設計を要求したのですが、

財源の関係というようなことで、最終的に新年度予算の基本設計、実施設計は4,000万と
いうことで落ちついたものでございます。

議長（水垣正弘君） 町長。

（町長 大久保 司君登壇）

町長（大久保 司君） 学校の設計等におかれましては大体6,000平米ということでござ
いまして、課長が言ったとおりで大体、もう少し本当はかかるわけでございますが、
4,000万円ということで予算化されております。

そのほかの水道につきましては、町の水道プランということで、計画がございまして、
公共下水道分とあるいは鬼怒小貝分と、あるいは農集ということで地域を指定しており
ます。西豊田と中結城も、瀬戸井上、下、兵沼、前田、佐野、あと粕礼、あと塩本の低
い一部が農業集落排水の地区計画の中に入っているということでございまして、公共下
水道については菅谷、若地区、露田と鬼怒小貝下水道等と区分されておまして、町の
下水道計画の中に入っておりますので、急に思いついてやるわけではございませんの
で。

また、そのほかいろいろ、公共下水道分になっております中結城も西豊田も、地区の
計画には入っておりません。菅谷西部、大山、後の計画でありまして、今の計画は公共
下水道、露田やれば、次の、ずっとございまして、鬼怒小貝あるいは公共下水道、加入
率が平均的に少ないと。約30%ぐらい。農業集落は98%ぐらい、7%か8%、全部入る、
集落の人が。なかなか公共下水道、鬼怒小貝下水道については入らないということでご
ざいまして、町の計画にのっておりますので、議員さんにも見ってもらって、こことここ
がこういうことでやるということでございます。

あと、何か所か低いところは農業集落排水でやる場所もありますが、公共下水道、安
静から今、東露田と露田をやっておりますが、なかなか加入率が少ないということで、
町でも繰り入れ相当しておりますが、農業集落排水は先ほど申したとおり、90%以上の
加入率ということでございまして、これからの公共下水道、あるいは鬼怒小貝下水道、
町でも相当な設備がかかりますが、繰り入れしても、それだけ効果がある制度でありま
すので、その場合は今ちょっと加入、接続率があればいいのですが、議員さんたちもさ
らなるご協力をお願いしたいということでございます。

以上であります。

議長（水垣正弘君） 13番、大久保敏夫議員。

13番（大久保敏夫君） 3回目なので、これで閉じますけれども、今一中の件ありましたけれども、とりあえず今6,400平米、また町長からも6,000平米という、そういう話でいくと、1,800坪からの学校が建つ、基本的に。その収縮は、そのときの状況によるのでしょうか。答申では2階建てがいいのか、2階建ても可能だと、3階建てでもいいだろうというふうな答申が出ているようですが、できるだけ予算措置の中で、今理由にあった、なるべく安く、なるべく早い時期にそういうものが、直下型が来てからが正しいのか、来ないうちが正しいのか、その辺のところは今世の中で、きょうもテレビでやっていましたけれども、わかりませんけれども、耐震構造のやつが早くできるように努力をしてほしいと。

あと、先ほど言った農業集落排水事業と流域下水道との違いも、今町長からありましたように、まさに八千代の地形と、また住環境というものが非常に、行政体が動こうとしていることと現実が余りにもギャップがあると。霞ヶ浦の農業集落排水事業とてしかり。基本的には畑総で幾ら一生懸命やって霞ヶ浦用水事業の蛇口をつけようとしても、その蛇口のつけ率は低い導入になっている。それがまた、鬼怒小貝流域下水道とまたしかりでありますので、その辺のところもやはり相当うまくやっていないと、うちのほうも地区外というか、計画外ではあるけれども、農業集落排水事業のほうの手取り早いから、「おらほうへ来てくれ」と、「おらほうもやるんだ」という話も出なくもないので、その辺のところも全体像の中で努力してもらいたいと、そういうことです。

議長（水垣正弘君） そのほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（水垣正弘君） これで質議を終わります。

議案第16号 平成24年度八千代町一般会計予算から議案第23号 平成24年度八千代町水道事業会計予算まで8件については、お手元に配付の付託事項明細書のとおり、関係常任委員会に分割し、会議規則第46条第1項の規定によって、3月15日までに審査を終了するよう期限をつけて付託したいと思えます。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（水垣正弘君） 異議なしと認めます。

よって、議案第16号 平成24年度八千代町一般会計予算から議案第23号 平成24年度八千代町水道事業会計予算まで8件につきましては、お手元に配付の付託事項明細書のとおり、関係常任委員会に分割し、3月15日までに審査を終了するよう期限をつけて付

託することに決定をいたしました。

日程第2 休会の件

議長（水垣正弘君） 日程第2、休会の件を議題といたします。

お諮りいたします。議事の都合により、あす10日から14日までは休会としたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（水垣正弘君） 異議なしと認めます。

よって、10日から14日までは休会とすることに決定いたしました。

議長（水垣正弘君） 次会は、15日午前9時から本会議を開きます。

本日はこれにて散会といたします。

（午前11時33分）